



宇都宮共和国と大学に入
して1年がたちました。
コロナ禍で大学生活をス
タートし、入学式とガイ
ダンス後にリモート授業
やホームルームに移りま
した。新しい友達との距
離感もつかめないうまま、
目まぐるしく日々を追わ
れ、当時の印象はあまり

宇都宮共和国子ども生活学部

コロナ禍の1年も充実



これまでの学生生活を語る近藤さん

記憶に残っていません。
自宅にパソコンやWi-Fiはあったものの、リモートでの授業は慣れていないので、ついていくのが大変でした。

昨年5月の緊急事態宣言解除後すぐに、さまざまな感染対策を行った上で授業が開始されました。多くの大学で対面授業ができない中、共和国

は少人数制のため対面授業が受けられたことは、とても恵まれたと心から思いました。当時は、やっとスタートする実感と、しっかりと学びたいという前向きな気持ち、友達をつくりたいという思いでいっぱいでした。

私は今、学生会で役員をしています。学生会は行事運営に携わり、学生の皆さんが安全で楽しいキャンパスライフが送れるよう、日々活動しています。人前で話すことにも自信を持つことができ、コミュニケーション力や協調性も身につきました。

コロナ禍でスタートした大学生活ですが、保育者を目指す自分にとつて充実した1年間でした。

（子ども生活学部2年 近藤礼萌）

みやもつと

ま